



寒さに負けず、たくましく（記者を雪だるまにしたのは誰ですか？）

川北つくし保育園にて

しべっ 議会だより

12月定例会

第129号

平成21年2月1日

〈特集〉地域経済の現状をレポート…4～5

行政報告 サケ大不漁に大きな衝撃…………… 3

一般質問 急げ、子育て支援の行動プラン… 6～8

決算質疑 悪質滞納者に強行措置…………… 10～11

平成20年 第4回定例会

第4回定例会が12月17・18日の2日間開催され、補正予算7件、人事案件2件、条例制定4件、19年度の会計(10件)の認定及び意見書1件が上程され、原案どおり可決されました。

補正予算

【一般会計】

〔主なもの〕

○ふるさと応援寄附金積立金
203・8万円

○標津小学校校舎等耐震補強事業
▲10,456・1万円

※工事不要となった

○職員人件費
1,120・7万円

【国保特別会計】

〈病院事業〉

▲137・4万円

※給与費等の減

【介護保険特別会計】

〈事業勘定〉

668・8万円

※地域密着型介護サービス給付費の増等

【介護保険特別会計】

〈サービス事業〉

▲193・2万円

※人件費の減等

【簡易水道特別会計】

133・6万円

※人件費等の増

【下水道特別会計】

43・4万円

【サーモンパーク特別会計】

▲118・3万円

※人件費等の減



条例案件

▽町税条例の一部を改正する条例

※道条例の改正により寄附金税額控除の指定に次の2団体を加える。

(1)社会福祉法人標津町社会福祉協議会(2)社会福祉法人標津福祉会。

人事案件

◇固定資産評価審査委員

山本 祐一(再)

56歳

〈住所〉

標津町川北本通6

番地

〈任期〉

平成20年12月20日から平成23年12月20日まで

◇教育委員

青山 信一(新)

61歳

〈住所〉

標津町南二条西一

丁目

〈任期〉

平成20年12月21日から平成22年9月30日まで

教育長に選任

根室管内・小中学校校長会会長を歴任

すでに57人
233.8万円の実績

※平成21年4月1日から施行する。

施行する。

▽手数料条例の一部を改正する条例

※優良住宅新築認定手数料の増額

▽安全で住みよいまちづくり条例の一部を改正す

補正予算の状況

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	▲ 95,149	5,348,321
国民健康保険特別会計 (病院勘定)	▲ 1,347	643,976
介護保険特別会計 (事業勘定)	6,688	337,965
介護保険特別会計 (サービス事業)	▲ 1,932	28,883
簡易水道特別会計	1,336	215,294
下水道特別会計	434	574,784
サーモンパーク特別会計	▲ 1,183	68,829

る条例
※町の責務の条項の中で生活の安全を確保するための「環境整備等」を「環境整備並びに犯罪及び事故等の被害者支援の実施」に改める。

▽国民健康保険条例の一部を改正する条例
※現在被保険者が出産した時は一時金を35万円支給しているのを、「必要であると認めるときは3万円を上限にプラス加算をするものとする」。



金澤 瑛町長

北海道の自衛隊と

取り巻く情勢

現在、国においては防衛大綱の見直しとして次の中期防衛力整備計画の策定が進められ、今年中に防衛省案を取りまとめることされている。

今回の見直しでは、中国の軍事力強化に対する対応とし北方方面の陸上自衛隊の体制・定員などの防衛力を本州の南西方面へ振り向けられるのではないかと懸念される。

このことから北海道の関係市町村・団体は「北海道の陸上自衛隊体制維持と札幌大会」を開催した。

また、11月20日には東京において中央決起大会や体制等の要望活動を展開してきた。平成16年に策定された現行の大綱の元では、標津分とん地は合理化の対象とならな



ったが、道内全体で1万人が削減されたと言われる。本町においても今や標津分とん地は、まちはづくりや地域行事、自治活動において欠かすことができない存在だけに、大きな危機感を持って事に

定住・美郷団地の状況

当たり「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」との連携を密にして行動を強化していく。

分譲開始から3年目を迎え、全28区画中、14区画50%の分譲となつてい

る。住宅建設の進捗状況は5戸となっている。最近の成約の中に知人から地盤が悪いと聞かされ、自費で地盤調査を行い、町の説明どおりと納得し成約に至ったケースがあった。近隣の民間分譲地と競合する中で、いろいろな風評があると思うが、それらの払拭と本町の優位性など、きめ細かい情報を発信して残り区画の分譲促進に努める。

地域づくり総務大臣

表彰の受賞

全国で8自治体、道内では唯一本町のみが受賞し12月22日表彰を受ける。

この表彰は、「地域をより良くする顕著な活動と

その成果を上げている」自治体、団体、個人を対象として総務大臣が表彰するもの。

本町は水産業界あげての「地域ハサップ」と「エコ・ツーリズム事業」など食品の安心・安全の先進的取り組みや品質の付加価値対策・観光と産業の融合による体験観光の推進に取り組んでいることが高く評価されたもの。町民との協力の成果として大いに誇り、今後一層の推進に努める。

農業について

ここ1、2年の急激な輸入穀物や原油価格・生産資材の高騰により酪農経営はかつてない厳しい局面。本町の生乳生産量は11月末現在で全道平均の伸び率2・8%を大きく上回る8%増と大きな伸び率を示しているが、

経営経費の40%を占める飼料費は昨年に比べて21%上昇していて、経営は一層厳しさを増している。

来年3月から乳価が1kgあたり5円30銭の引き上げが決定しているが、なお楽観できない。

農協など関係機関と連携を密にし、支援の充実を図っていく。

水産業について

鮭定置網がここ20年間の中で漁獲量・金額ともに最低を記録し、未曾有の大不況に大きな衝撃を受けている。

水産業の低迷は生産者のみならず関連産業の資金繰り・雇用不安・消費の低迷など地域経済への影響が大きい。すでに「緊急経済等支援策」の予算措置し対策を講じたが、時期を失しない追加対策が必要と考える。

この一年を回顧して

町民の鬼籍に入った方々に、あらためて哀悼の意を表するとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

の現状報告

乳用・肉用牛頭数

平成20年12月31日

区分	乳用牛		肉用牛	
	戸数	頭数	戸数	頭数
15年	170	20,305	21	3,246
16年	170	20,538	19	3,572
17年	165	20,045	19	3,226
18年	165	20,236	19	3,195
19年	159	19,553	17	2,912
20年	157	20,223	16	3,481

酪農

昨年世界的な原油・食料・関連製品などの価格高騰や金融市場の混乱から経済状況や町民生活に大きな影響を受けることになると共に、特に漁業の不振は地域経済を大きく揺るがすこととなりました。

そこで町内の主要産業が現在どのような状況にあるのかレポートしました。

牛乳年間販売額

牛肉等個体販売額

酪農生産額

年度	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
15	7,012,291	1,566,066	8,578,357
16	6,810,592	1,766,803	8,577,395
17	6,661,748	1,699,249	8,630,997
18	6,307,299	1,664,156	7,971,455
19	6,584,894	1,608,327	8,193,221
20	7,460,652	1,470,279	8,930,931

厳しいが 堅実な歩み

農家経済は飼料・燃料・資材などの高騰により支出において前年比10%増となり、厳しい状況が続いています。

中でも肥料費が24%増、飼料費が20%増で肥料は今後更に値上がりが見込まれています。

支出削減の努力として生活費は一戸平均100万円程度の抑制を図り、修理費・賃借料金などの節減も行った結果、総支

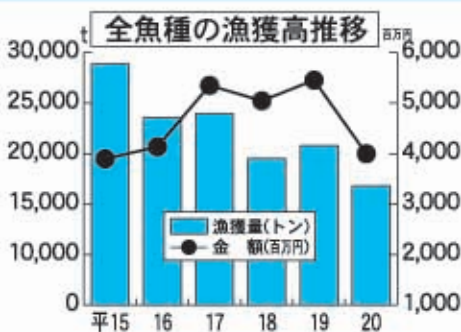
出が10%増に留まったと言えます。

一方、収入面では2年続いた制限乳量枠が事実上無くなったため、前年比8%増の乳量となり、初妊牛など個体販売額と合わせると前年比12%増となりました。結果、収入総額も増加し前年比10%増となりました。

乳量枠の増・乳価の上昇で支出の増加分をカバー出来た。牛乳生産が全道でもトップクラスの増加率であったのは疾病予防のワクチン全頭接種・コントラクター委託や繁殖向上プロジェクトの実施などによる飼料管理技術の向上・自給飼料の品質向上が挙げられています。

世界的な資源・食料の価格は今後も上昇が予想される中、自給飼料・肥料の良質生産・利用が求められています。

また、農村の持続的発展に後継者対策や年間3,000時間以上に及ぶ労働時間の過重は重要な課題となっています。



漁業

漁家経済の上半期は燃料や諸資材の高騰によって採算が危ぶまれましたが、国の支援制度や沿岸漁業の特性もあり、厳しいながらも燃料については影響も最小限に食い止めることが出来ました。

しかし、下半期は本町の漁獲量の80%を担うサケ漁が過去20年間で量・金額ともに最低の6,300トン・28億3,000万円という未曾有の大不漁となり、前年比51%

鮭定置 大打撃

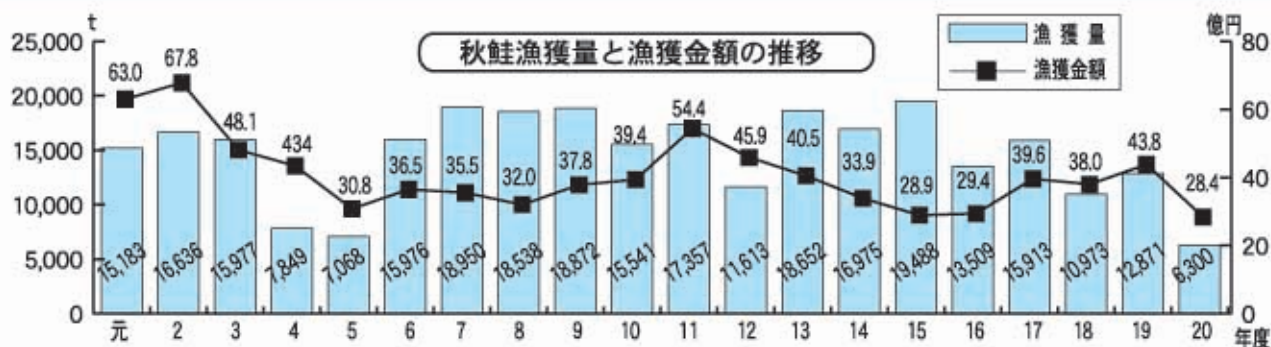
業の検証など早急な対策により、漁業の大宗を占める安定的なサケ漁獲量を維持することが本町経済にとっても必要不可欠の条件です。

ホタテ漁は平成18年の低気圧被害の影響が心配されましたが、661トンの水揚げとなり、一定の漁獲量を確保することが出来ました。

の減、金額では35%の減となりました。

親魚については一定量確保出来ましたが、定置漁家経済にとって大打撃を受け、地域経済にも甚大な影響を受けることになりました。

全道的な不漁の中、原因については解明されていませんが地球温暖化による海水温の変化や河川・沿岸・遠洋環境の変化など長期展望に立った対策、あるいは人工ふ化放流事



また、地場産稚貝の養殖施設が増設されることから水揚げ増加が期待されています。

他の魚種ではホッケ・スケソウが前年より多く水揚げされています。

ウニについては過去に2億円近い水揚げがあった魚種であり、他の魚種も含め今後の沿岸環境対策として「コンブ資源」の回復が必要です。

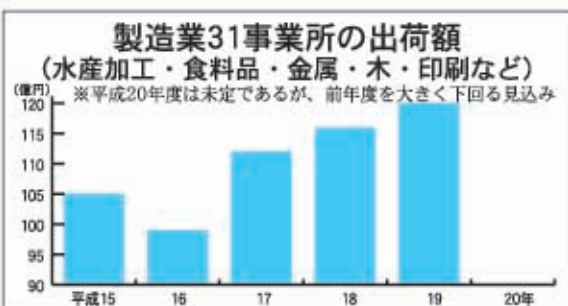
サクラマスの資源は年々増加傾向にありますが、鮭稚魚への影響もあり、検討する必要があります。

平成20年の漁獲金額は全体で目標を大幅に下回る40億円弱となりました。

サケ主体の漁獲を基本に当地域の水産資源の造成が求められています。

商工観光

景気低迷に
不漁・不況が拍車



商工業は長引く景気の低迷・人口減少・消費流出・公共事業の減少に加え今年度の漁業不振・世界的な同時経済不況により一層厳しい状況にかかっています。

全業種において売り上げが減少あるいは横ばいで減少幅は10～20%以上に及んでいます。

商店では多様化する消費者ニーズに対応出来ない、品揃えの難しい構造的な課題も抱えており、特に水産加工販売において

(1) 観光施設等利用状況 (人)

施設名	15	16	17	18	19
せせらぎの宿	2,321	2,270	1,713	1,384	916
金山スキー場	52,801	47,507	35,753	29,020	46,600
サーモン科学館	61,766	56,043	55,066	61,921	48,094
野付半島	291,694	278,634	242,159	213,296	190,523

(2) 観光客入込み数及び宿泊施設利用状況 (人)

施設名	15	16	17	18	19
観光客入込総数	552,847	542,427	521,139	489,299	449,247
うち宿泊者	7,331	7,925	7,811	6,755	7,756
宿泊客総数	20,209	18,571	17,455	15,628	15,402

ではサケ漁不振による原料価格が30%以上も値上りし、販売価格に転嫁するにも限界があるため、非常に厳しい状況にかかっています。

住宅建設発注の状況は平成16年の26棟から、19年19棟、20年12月期で13棟と大幅な減少です。

観光客の入込み数は減少傾向が続く中、燃料高騰などにより、平成20年度上期で30%強の大幅減少となっていますが、必要とされています。

いずれにしても様々な要因によって本町経済が厳しい状況にあり、活性化対策の具体的な対応が必要とされています。

昨年12月、国の交付金を活用した町のプレミアム商品券発行事業は509世帯、1戸当たり平均4万円として使用されており、商工業の12月売り上げは前年並みで、一息ついたと言われています。

宿泊客数は前年並みでした。

一般質問

Q

&

A

3人の議員が5項目にわたり町長・教育長に質問を行いました。

高齢者の通院交通手段の確保を

『守るべき重要施策』として対応



小川悠治議員

Q

市街循環バスのうち、病院方面行きは午前・午後各1便あるが帰りの便が午後3時50分の1便しかない。

昼頃の帰路の便が必要。標津総合バス対策としての評価はできるが、交通手段を持たない高齢者が安心して通院できる交通手段を福祉対策として講ずる必要がある。

高齢者にとって、病気と通院はもつとも大きな不安要素であり、常日頃の不安解消こそが福祉対策の根幹と考える。冬季間のリハビリ通院手段確保にもなる。

A

高齢者世帯が増えている中で通院手段確保は「守る政策」の中でも最重要と考えている。

本年度試験運行している登録予約制バス（古多・糠川北線・市街循環線）は予定した効果が出ている。運転手さんや受付も含めた親切的な対応も好評である。近いうちに本格実施出来ると考える。そのためにも利用者、バス関係者、ハイヤー業者を含めた多くの皆さんの意見・提言を頂き、その中で減便した昼前の便の復活も考えたい。

追加（対応）

1月6日より新第2便試験運行開始

《帰り便》

サーモンパーク発・

病院 11時32分

予約制無料バス・病院玄関前



鮭不漁・準要保護児童の把握に万全を

児童生徒の就学に支障ないよう的確に判断

Q

本町の基幹産業の秋鮭定置漁業が漁獲

量で前年比49%金額で65%と未曾有の不漁となつ

ている。

漁業者、従事者は元より水産加工業など関連産業や多くの商工事業所への影響は大きい。特にパート雇用を含む加工従事者にとっては漁獲量減少が即勤務時間減少・収入減として現れ、不漁の影響は非常に厳しいものがある。

過去の例では鮭不漁が年末の準要保護対象者の増加に直接つながっていた。準要保護に該当する世帯の児童生徒の把握と就学援助に万全を期してほしい。

A

鮭不漁や経済状況悪化の中、真に生活困窮な状態かを的確に対応した。

校長会・教頭会を開催し、児童生徒の教育に支障のないよう該当者に対する申請手続きの指導を指示している。

全道的には認定基準が厳しくなっているが本町の基準の変更は無い。

財政運営の現状と見通しは

道内では上位6番目、
長期予測は困難



千葉 元議員

Q

標津町は少子高齢化、人口減少の進行にともない財政運営は厳しい状況である。町の長期計画では平成26年度から黒字に転換されるとあるが、今後も変わりなく推計されるか。

A

今後の財政見直しについては19年10月に公表した。平成13年度から全道に先駆けて行財政改革本部を置いた。町職員も含めた人件費の削減、町民サービスの見直し、町債の繰上償還など積極的に取り組んで来た結果13〜20年度の7年間

で9億円にのぼるコスト削減を達成した。

ただ、サービスも低下している。住民の皆さんと職員に大きな犠牲を強いての改革である。

おかげで、財政の健全化率は道内180市町村の上位6番目に位置している。しかし、100年に一度と言われる世界的同時不況の中、現時点で5年後10年後を見極めるのは困難な状況にある。

6月の次期町長選出馬は 道半ば、審判仰ぐべく丑馬

Q

平成21年6月23日をもって町長の任期が満了する。今後とも、標津の活力ある行政執行をして頂きたいと思うが、町長の今後の行政に対する

の考えと、併せて2期目出馬の意向の有無を伺いたい。

A

後援会からは正式に要請があった。地域の大きな課題である標



「道半ば…」町長選に出馬

津病院については、院長と十分話し合い、この先の見通しに明確な手応えと理解を得た。「ふるさと新生プラン」も道半ば、町内の経済、住民生活の厳しさが増す中、局面打開も併せて、今後の町づくりについて町民の審判を仰ぐべく次期町長選に出馬したい。

意見書

「介護療養病床廃止の中止を求める意見書」

提出者

文教福祉建設常任委員長

小川 悠 治

平成18年に「医療制度改革関連法」が成立し、平成24年3月までに介護療養病床が完全廃止されることになっている。

この廃止に伴い、現在介護療養病床にいる方は、自宅や介護老人保健施設などに移ることになるが、問題点として「自宅で介護できない家庭もあること」、「すぐに施設入所出来ないこと」がある。

このような現状の中、法律成立後2年経過しているが廃止後の対策が不十分であるため、介護療養病床廃止の中止を強く要望する。

急げ、子育て支援と 農業振興計画行動プラン

関係者と早急に協議



安達 護議員

Q 平成19年9月、安

心して子供が育てられるようにと子育て支援計画が作られ、また一方19年度から23年度までの農業振興計画が20年2月に出された。

A この2つの大きな計画はいずれも町民の多くが期待しているものであり、現状を分析しどう打開して行くのか。先行の見通しが総花的でわかりづらい。年度を追って行動計画行程表を作るべきと思うが伺いたい。

A 今の自治体どこも頭を痛めている。人口減少や予算縮小など長

期的プログラムが作りにくくなっている。

本町が唯一町民に示しているのが、ふるさと新生プランである。

3つのKを進めて行きたい。

一つは基幹産業

二つは環境

三つは教育と子育て支援です。

支援センターを設立し意見を聞きながら支援して行く。

農業は担い手育成総合支援協議会を立ち上げ支援している。

ふるさと新生プランも経過を検証しながら町民に示すことが出来ないか検討研究して行きたい。



望まれる延長保育

Q 二つの計画は選択と集中で若者に夢を示すものでなければならぬのでは。

A 本町は子育て支援で他町に比べ保育料の半額負担をしている。今私が考えているのが、延長保育です。

そのためのアンケート調査を実施しています。



期待される不耕起更新

また第3子からの保育料無料も検討している。酪農はコスト高で所得に大きな影響が出ている。1戸平均家計費を100万円減らしている。農協とも協議しながら地盤沈下をどう食い止めるのが良いのか振興基金なども含め総合的に対処して行きたい。

委員会の動き

文教

福祉

建設

道外行政視察

(10月20日～23日)

【目的】

【調査事項】
(～12月31日まで)

★介護保険及び後期

高齢者医療制度に

関して

★標津川自然復元川

づくり計画に関して

★子育て支援に関して

・日本で最も美しい
村連合によるまちづ
くりについて
・子育て支援と認定
子供園の実施状況
・市町村合併後の状
況について

★山形県大蔵村

人口4千人。日本で名
だたる豪雪地帯、降ると
ころは4mを超える。除
雪に関しては村民に迷惑
をかけないよう例年1億
数千万円をかけて日本一
除雪完備の村を自負する。
日本で最も美しい村連
合に設立時から加盟し、
小さくても光輝くオンリ
ーワンを目指したまちづ
くりを進めている。
森林組合、農業共済組
合、農協が先行して合併

したが、結果として裏目
に出たこともあり自立を
選択。

県内でも有数の基金を
蓄え性急な合併は望まな
い。

★山形県最上町

人口1万5000人、自
立を目指す。幼児教育の
先進地域で、国の制度が
できる10年も前から情報
収集を含めて取り組む。

平成19年には山形県第
1号の認定子供園を設置
する。幼・保の区別無く、
「同一教育内容で、同一
教育、足並み揃えて就学」
を基本とする。

合併した他町の医療崩
壊も教訓とし、病院に一
般会計から2億円をつぎ
込み、充実した医療体制
で住民の健康を守る。

★秋田県美郷町

2町1村が合併、人口
2万3千人。大きな合併
より、隣接の同一規模・

同一産業(稲作)での顔の
見える合併を選択。

公共施設は3地域に均
等分散し、本庁舎所在地
決定は急がず、10年後に
決める。

推計では合併10年後に
2万人を切るとされている
が、2万人を割らない
町づくりを推進。

町づくり計画は17年を
基準に全てを数値化して
実現に向う。

合併3地域に充実した
幼保連携型認定子供園を
設置し、現状出生率1.48人
5年後1.60人に、10年後に
1.68人として人口2万人を
守る計画。

●第10回委員会

(12月4日開催)

道外行政視察のまとめに
ついて(報告書)

●第11回委員会

(12月11日開催)

所管課協議報告11件



秋田県美郷町で説明を受ける



美郷町の幼保連携型認定保育園

決算審査Q&A

平成19年度決算審査委員長報告

平成19年度決算審査特別委員会が11月10日から17日まで開かれ、次の意見を付して認定しました。

審査意見

(1) 税の多額不納欠損処分について、滞納整理機構に加入する上で止むを得ない部分もあるが、住民の公平負担の原則に反する部分もあることから、

今後の対応については、この経験を十分生かし適切な収納業務に臨むべきであり、町税及び、各種使用料等の滞納処理については、滞納者個々の生活実態に応じた徴収を行い、悪質な者に対しては強行措置を取るなど適時適切に処理されたい。

(2) シルバー勤労会の運営に当たっては、設置趣旨に基づいて実施されるとともに幅広く、会員を公募し作業区分についても公平、安全で働ける環境を維持し、働ける場の

創出を図られたい。

(3) 町民の健康維持を図るため、各町内会に配置されている健康づくり推進員を活用し、住民の受診勧奨、情報提供や役場関係部署との事業連携を図るなど、町内会及び健康づくり推進員、役場関係部署との連携を強化されたい。

(4) 農地からの砂利採取については、複数の法律が係っており、現在では優良農地から採取したい旨の申請もあり、農業、農村を維持していく上で大きな問題になっている。

また、森林を含む環境保全を推進するため、今後の対応については更に徹底した指導と優良農地からの砂利採取の規制及び代替地の確保など有効な対策を講じられたい。

(5) 大規模草地の跡地利用については、年数経過

とともに荒地となることが予想されることから、早急に活用の方角性と対応が必要である。

(6) 決算書の内容説明において、多額の不用額が生じた科目について、金額基準を設けるなど、説明の徹底を図られたい。

(7) 行政各般にわたり、様々な、課題が山積する中、課題解決に向けた、事業展開のスピードアップ化を図るとともに、一層協働のまちづくり推進に努められたい。

審査Q&A

(要点抜粋)

歳入

【町税】

Q 不納欠損処分は適時適切だったのか。また、どう納税徴収業務を生かそうとしているのか。

A 整理機構に加入する

歳出

【総務費】

Q 職員研修について資料は5名となっていたが説明では15名と言ったが間違えか。

A 5名は旅費つき支払で旅費の伴わないものも合わせて15名となる。

Q 地域担当参事の活動の評価を説明願いたい。

A 設置から徐々にではあるが浸透してきている。

Q 公用車は現在55台あ

るが今の台数で足りているのか。

A 適正ないし、少なめと認識している、現課で管理している車両を一元管理により効率的運行を検討して行きたい。

Q 蕨別市街の国道335号を通行する車両のスピードが速く50キロから40キロにするなど何らかの、対策を講じるべきではないか。

A 警察等関係機関と協議したい。

Q 市街巡回バス、来年度からの体制は。

A 循環バスは利用者が増えているので効率的な運営を図って行く。

【民生費】

Q 冬の生活支援対策事業の対象者が244人に対し、実績が231人差引13人の内容は。

A 灯油支給となっていたため薪ストーブを使用している人は交付されて

いない。平成20年は灯油以外でも交付対象とする。

Q 福祉灯油は生活保護者と施設入所者はどうなるのか。

A 12月の補正前に生活実態を確認して検討する。

Q シルバー勤労会の登録の状況は。

A 希望者全員受け入れている。平成20年は37名の登録がある。

Q 作業区分、賃金はどうなっているのか。

A 時給で軽労働660円重労働は760円となっている。

Q 月額どのくらいの額をもらっているのか。

A 上限を5万円としているが作業内容によって超えている人もいる。次年度に向けて精査する。

【衛生費】

Q 各種検診の受診率が低い、地域健康推進員の活動状況は。

A 活動が活性化されて

いない。今後喫煙対策や肥満予防を事業重点化対策とする。

Q 伊茶仁の加工場跡の廃屋は。

A 環境上問題であるが民間所有なので対応がむずかしい。

【農林水産費】

Q 農業担い手サポート推進事業の新規就農者数と事業内容は。

A 平成19年は1戸の就農があった、環境整備、畜舎の修繕、牛の導入など広範囲に使用できるようになっている。

Q 若手経営者や後継者の研修機会が重要、成果と取り組みについて。

A 担い手育成総合支援協議会を立ち上げ研修を実施している、今後とも強力な体制を構築して行く。

Q 農地からの砂利採取は避けるべきと考えるが。

A 一度認めると範囲が

拡大する可能性があり非常に難しい。将来的に砂利採取は農地からしないという結論に達するかも知れない。

Q 砂利採取を法的に抑えることができるのか。

A 砂利採取法では抑えることができない、農地法等では指導の範囲である。

Q 平成19年大規模草地在り、廃止となったが、跡地利用の検討状況は。

A 河畔林については北大と協議して行く、土壌調査もする必要があるの

Q 鮭漁の不振原因は。

A 前年比47・8%と非常に厳しい、原因は調査中で結論は出せない。

【商工費】

Q 高齢者等の宅配事業は。

A 周知不足であり、商工会と連携を取りながら再度要請する。

【土木費】

Q 川北蕨別線の交通量の増加が予想される。安全対策は。

A 土現から年度内に説明があると思う。待避所や標識の設置を要請する。

【教育費】

Q 高校生の大学入試対策の夏期・冬期講習内容を。

A 1人当り6泊7日の交通費、宿泊費、講習代12万2千円、資格者として1年生は希望者全員、2、3年生は成績上位3名を出す。

【簡易水道特別会計】

Q 茶志骨地域の水道耐震工事が行われたがどこまで耐えられるのか。

A 鋳鉄管のNS継ぎ手を使用。震度6までの性能がある。

【金山休養施設等特別会計】

Q 2月は土日祝日営業となっているが学校授業のためにも平日営業出来ないか。

A 1月全日、2月土日祝日で運営経費700万円業者と同意している。授業のため、2月は平日4日間営業している。

【サーモンパーク特別会計】

Q 平成21年で起債の償還が終了するが、改修計画はあるか。

A 3年後から計画的に、改修を行うべく協議していく。

12月20日に教育長が
辞任した件についてで
すが、教育長の選任は
町長に任命権があるが、
任期途中で辞任すれば、
その理由が何にかかわ
らず、任命した町長は、
議会、並びに町民にそ
の内容を説明する責任
があるのではないか。

議会では、教育長の
辞表提出の報告のみで、
即、後任の教育長が承

冬になって最も困つ
て、憂鬱なことは除雪
である。最近暖冬の影
響で雪が少なくなつた
と言つても何回がある。
主人が元気なうちは朝
早くから除雪し、その
後の除雪車による雪の
山に腹立たしく思いな
がらも何とか対応して
くれた。
主人が体調を崩して
から何とか玄関周りだ
けでも除雪するが高齢

認されたと聞いている
が、この任期中での
教育長の交代劇には隠
べいと仕組まれた交代
の印象の感があるし、
また、小さな町、特有
の町長と議会の馴れ合
いの感じも否めない。

(60代男性)

町民の声

者にとっては大変なこ
とである。

特に道路沿いの場合、

除雪車による雪の山に
は全く対応できない。

除雪は車道が優先で、

その影響がさらに高齢
者や非力な者にのしか
かって苦しめる。これ
でいいのだろうか。

(60代女性)

標津の町にもっと活
気が欲しいです。観光
にも力を入れて欲しい
ですね。新しい施設を
建設するとなると莫大
な費用がかかります。
施設は今のまま人員と
アイデアでこの町が盛
り上がる事を期待しま
す。「水キ拉里」も町
民だけのお祭りのよう
な感じがします。
道内・道外からも人
が呼べるようなお祭り
を目指して欲しいです。
町民各自が職業や役職

標津町営金山スキー
場までのバス運行が実
施される予定はないの
でしょうか？

今年は近隣のスキー
場の閉鎖で金山スキー
場の利用者が増えたとい
う新聞記事を読ん
で町外の方が利用してく
れて嬉しく思いました。
では標津町民はどう
でしょうか？あまり利

に關係なく、標津町の
将来を真剣に考えアイ
デアを出し合うような
町になる事を望みます。
産業に關しても漁協
や農協が協力し合いお
互いに良い方向に向か
えば良いと思います。
まずは、漁師と農家の
コミュニケーションや
話し合いの場を作ると
良いですね。
ロシアや姉妹都市と
の交流を深めて欲しい
です。

(30代男性)

「町民の声」の投稿
をお願いします。

議会事務局まで。

用している話は聞きま
せん。

小中学校でもスキー
授業を実施してほしい
です。

そこで楽しさを覚え
た子供達はバスの利用
者になり標津町営金山
スキー場の大きな利用
者になるでしょう。

(30代男性)

編集室



平成21年の年も1ヶ月
も過ぎました。

本年は牛歩のごとく、
じっくりと確実に、町民
の目線で、何事にも取り
組んで行きたい。

今年は異例の国会招集、

第2次補正予算、21年度
本予算が何時決まるのか
固唾をのんで見ている。
年度内成立が出来なけ
れば、地方が大きく動か
されてしまう。早期成立
を心から願うものです。

(安達 護)

議長	片岡 博司
広報特別委員会	
委員長	吉田 浩一
副委員長	小川 悠治
委員	安達 護
委員	大垣 勇